こどもにむし歯をつくらないために必要な

たったひとつの習慣とは？

むし歯ができる子は3歳までに最初のむし歯ができます。

反対に**3歳までむし歯をつくらなければ、その後もむし歯ができない可能性が高いのです。**だから、むし歯なしで育てるために一番重要な時期は3歳までなんです。

また**「乳歯はいずれ抜ける歯だから、むし歯になってもいいじゃない!?」**とお考えかもしれません。

しかし、乳歯にむし歯がある子供は、永久歯もむし歯になる可能性が高いことがわかっています。

このような事実からも**3歳までにむし歯をつくらないことが一生むし歯なしで過ごすためには、まずもって重要なことなのです。**

また実際にはむし歯がすでにでき始めていても3歳児検診や保育園の検診ではみつけられないことが多いのです。

このようなことから、3歳までにこどもの歯をみるのが得意な歯医者さんでむし歯予防をしていくことが大切なのです。

具体的に、むし歯予防ってなにをすればいいのでしょう？ずばり、フッ素を使うことです。

それだけ！

歯がはえてから2〜3年間は、歯はむし歯に対する抵抗力が弱いのです。

だからむし歯は3歳までにできてしまうのです。

その時期にフッ素を使うことで歯自体が強くなります。

むし歯に対する抵抗力があがるのです。

3歳までにフッ素を正しく使ってむし歯なしを達成しましょう！

フッ素のお問合せ、こどもの歯のご相談は今すぐお電話ください。

たにぐち歯科クリニック

尼崎市南塚口町3−3−15

06−6415−6480

ご予約・ご相談 受付中

お子さんが小さいうちから上手にフッ素を使って、むし歯のないこどもに育てましょう。

私たち親世代はむし歯予防には歯ブラシが一番重要であると教わってきました。

しかし**「歯ブラシをしているのにむし歯になってしまった」**という経験はありませんか?

日本のむし歯予防の教育は歯ブラシばかりが強調されてフッ素が重要視されてきませんでした。

その結果フッ素が広がっている他の先進国に比べて日本はむし歯が依然として多いのです。

「むし歯は治療したから治った」と思っていませんか?

いちど治療した歯が数年するとまたむし歯になり治療を繰り返す。

そうやって何度か治療するうちに、最初は小さいつめもので済んでいたものが、いつの間にか大きな銀歯になっている経験はないですか?
こんな悲しい負のスパイラルをこどもに経験させたくないですよね。

むし歯ゼロは、本当に幸せなことです。

TANIGUCHI
DENTAL CLINIC

尼崎市南塚口町3−3−15

むし歯ゼロ

06−6415−6480